[illegible]

り田崎重役等と會同、騒ぎをこらしたことは明かだ。望月氏等は町田氏が興銀のカイライであることを知つてか知らずか。

五、斯くの如きことを知るに及んで我々従業員は関東合同組合が正しく資本家の手先であることを分り且つ、あきらめて別なもの即ち三田土従業員団を作り我々のこの急迫した場面に備へようとすることが全従業員（組合幹部二三を除き）が一致して来た。

そこで本年九月二十三日我々従業員同志相寄つてその具体策を講ずべく向島クラブに集ることになつた。それを聞き知つた社長は驚いて我等の代表的人物を呼び関東合同以外の結合を計るのは　けしからんと称して叱りとばした、然もその社長室には支部長の寺岡外五六名が社長をコエイしてゐるだ尚ほ室外には三田土の従業員でないものまで混ざつて、約二十名程居る。内内外には小松原を先頭に五六十名の組合同盟員が居るのだ。此の人等は此の日何の名目で動員されたか知らぬが、事実は会社ブレイの暴力団としてだつた。

六、然し我々の代表はそれを一蹴して向島クラブに向つたとき約二百名の従業員は重役や関東合同組合の気狂ひじみた圧迫を尻目に続々と集まつた。

そして事実上従業員組合を結成した。此の事実は如何に全従業員が関東合同組合にあきれたかが示されるものである。

七、所が二十五日にまたもや各職場から社長室へ召かんがあつたので行つて見ると二十三日の如く支部役員が社長のそばに居る、此の況景の中に社長より我々の代表的人物七名に理由を言わずに解雇を言ひ渡した。

その夜組合幹部と重役は祝盃をあげたと聞いた。

八、斯る中に九月三十日重役間の泥仕合は遂に必然の帰結として興銀方が勝利[illegible]田崎狐は[illegible]辞職した。そして重役には興銀方より二名の重役[illegible]狐は[illegible]逃げたり[illegible]即ち組合の

[illegible]